

防災委員からのメッセージ

「防災活動に参加して」

防災委員(公民館長 郡山)

近年、気候変動や都市の劣化に起因すると思われる様々な災害が世界的規模で発生し、各所に多くの被害をもたらしています地震、台風、噴火、山火事等広範囲にわたるものから局所的な道路陥没、老朽化した建築物の倒壊・火災、水道管破裂による水害など大小さまざまな災害が、普段は平穏なわが町城山にも前触れなく襲ってくる可能性は決して否定できません。



逃れようがない突然の災害から身を守るのは、”想定される最悪の事態に対する備え”です。

公民館では毎年消防局指導の下、町民利用者参加による火災避難訓練を実施し消火器試用など行い、万一に備えています。また、公民館には城山校区防災部会が準備した防災備品等の見本・自助活動マニュアルを展示しております、

それらを参考にしていただくとともに、自助活動マニュアルはお持ち帰りいただけますので

住民の皆様個々が、もしもの事態に、被害が最小限に抑えられるよう日常的な取り組みをお心がけください。

見晴台通路整備完了につきまして

防災部会事務局

かねてより倒木懸念が続いていた見晴台通路の整備が昨年末に完了いたしました。

この通路を含めて一帯は個人所有であり、高崎市を通じて交渉を続けてきました。

2023年2月に危ない状況である事を纏めた対応要望書を一丁目区長、見晴台区長の連名で高崎市管理課、所有者様に届けました。その後も両区長が機会あるごとに高崎市に対応要請を続けてきました。その結果特例と思われますが、高崎市の負担で通路整備が行われました。

一丁目通路入口から通路半ばまでの山側谷側両方に危険木がたくさんありましたがすべて伐採整備して頂きました。この結果見晴台通路の安全性が回復致しました。相当の費用が掛かったと思われます。

高崎市の対応に感謝したいと思います。



少し暖かい日にお散歩がてらご確認をお願い致します。

こんな疑問をお持ちの方は多いのではないのでしょうか。今回は防災食の観点でその違いを検討してみました。ご自宅の備えの参考になれば幸いです。 ＊非常食とも言いますが今回は防災食で説明します。

<防災食の観点とは>

・高齢化の進む我が町の防災活動の中心は在宅避難への備えです。取り組んで頂きたい一つに防災食があります。まさかの時に家族分の食料、調理手段などの備えは大丈夫でしょうか？

<突然やってきた停電と断水>

・まずは飲料水の確保が最優先です。(水は防災新聞創刊号、第2号に記載しましたので省略しました)
 ・**家にある食料の確認**です。 お米、麺類、など様々あると思います。それに加えて防災食を備えている方もいらっしゃると思います。 災害時には食料の種類、量を把握し出来れば管理表を作成して頂きたいと思います。その**食料で家族が何日しのげる**でしょうか。

<次に重要なことは調理手段>この時に家庭で使える調理手段がどうなっているかという事です。

① お湯はかろうじて沸かせる程度

ちょっと厳しい状態と言えます。

② ガスコンロがありお湯が沸かせて、鍋も調理できる

この状態の家庭であればかなり多くの食料が使えるという事になりますが、何日分の燃料があるのでしょうか。 在宅避難に備える観点では、調理手段をしっかり備えれば、災害時に利用できる食材が増えるという事になります。 2人世帯でガスカセット10本程度は備えたいですね

(10本程度あればガスの消費状況を見ながら、お粥、鍋などの調理の工夫が出来ます)。



<防災食とは>防災食は様々ありますが、 共通点として①アルファ化してある(調理して食べれる状態にした後、急速冷凍し乾燥させたもの)②保存期間が5年或いはそれ以上

③ 価額は高い(例えばお椀1杯分の防災食で350円位

④最悪水を灌ぐだけで食べれるものがあります。



<カップラーメンではどうか>

・**カップラーメンの保存期間は、通常半年(賞味期限)**ですからさらに余裕がありますね。種類も多くお湯を注ぐだけで食べれるし、ローリングストック(使っては補充)をすれば防災食に十分向いていると言えます。 但し、置きっぱなしで1年以上も経ったものは食べてはいけませんよ。 ＊在宅避難時には食当たりにならない様十分注意が必要ですね。

・**乾麺(スパゲッティ、蕎麦、うどん)・パックごはん**はどうでしょうか。賞味期限は1年から3年など様々です。問題は、茹で時間が長いと言う事です。9分、11分もあります。パックごはんは通常電子レンジですが茹で時間の場合小さい字で15分と記載があります。いずれもこれだけの燃料消費が必要という事です。

<まとめでみると>

・基本は、身近な食料を出来る限り活用する事ですが、日頃から賞味期限などをしっかり知ってローリングストックを日常の事として定着化させておけば安心ですね。もちろんカップ麺は防災食として有効ですね。これを機に防災食にも興味を持って頂き、**日常食を基本として防災食を補完食**とすれば万全でしょうか。
 ・食料を生かすには、**調理手段次第**ですね。しっかり備えましょう。

編集後記 防災の備えにはこれが正解はありません。家庭の状況も様々です。この機に家庭内の食料のリストアップ、調理手段、ガスボンベなどの確認をお願いします。